

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

〈注意事項〉

1. 問題冊子・解答用紙では試験科目名を以下のとおり表記している。

科 目 名	表 記	ページ	科 目 名	表 記	ページ
公共, 政治・経済	政治・経済	2～29	歴史総合, 日本史探究	日 本 史	30～46
歴史総合, 世界史探究	世 界 史	48～65	地理総合, 地理探究	地 理	66～78
数学Ⅰ・Ⅱ, 数学A・B・C	数 学	80～85			

2. 試験開始の合図があるまで, 問題冊子を開かないこと。
3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
4. 科目の選択は, 受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
5. **数学**については, 定規, コンパス, 電卓の使用は認めないので注意すること。
6. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では, 鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆, ボールペン, シャープペンシルなどを使用しないこと)。

記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は, 消しゴムでよく消してから, あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり, 折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

7. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(数 学)

[I] 整式 $P(x) = x^{10} + ax^9 + b$ を $x^2 - 1$ で割った余りが $-2x + 5$ であるとする。

ただし, a と b は定数とする。

- (1) a と b の値を求めよ。
- (2) $P_1(x)$ は整式で, $P(x) - P_1(x)$ を $x^2 - x - 2$ で割った余りが $7x - 5$ であるとする。このとき, $P_1(x)$ を $x^2 - x - 2$ で割った余りを求めよ。

(計 算 用 紙)

数学

〔Ⅱ〕 n は自然数とする。1 から n までの番号をつけた n 枚の札から 1 枚ずつ 3 枚の札を取り出し、取り出した順に並べる。このとき得られる番号の列 a_1, a_2, a_3 が等差数列となる確率を、 n が次の場合にそれぞれ求めよ。

- (1) $n = 3$
- (2) $n = 7$
- (3) $n = 100$

(計 算 用 紙)

数学

〔Ⅲ〕 座標平面において、点 $(0, 7)$ を A とおき、放物線 $y = -x^2 - 4x - 2$ を C_1 とおく。また、 A から C_1 に引いた、傾きが正の接線を ℓ とおく。さらに、点 P が C_1 上を動くとき、線分 AP を $1:2$ に内分する点 Q の軌跡を C_2 とおく。

- (1) ℓ の方程式を求めよ。
- (2) C_2 の方程式を求めよ。
- (3) C_1 の $x \leq 0$ の部分と C_2 と ℓ で囲まれた部分の面積を求めよ。

(計 算 用 紙)